



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山口 一城
 (氏名) 安本 昌秀

上場取引所 東

TEL 03-3863-1211

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,304	△2.8	666	53.4	596	26.2	420	47.3
2019年3月期第1四半期	8,546	△2.2	434	△26.3	472	△19.9	285	△30.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 502百万円 (381.3%) 2019年3月期第1四半期 104百万円 (△82.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	116.89	—
2019年3月期第1四半期	79.37	—

※潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	48,588	18,003	37.0	5,001.75
2019年3月期	46,926	17,863	38.0	4,963.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,982百万円 2019年3月期 17,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	2.2	250	△61.8	200	△75.0	100	△79.6	27.81
通期	34,200	0.1	800	△45.4	700	△53.7	500	△43.3	139.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	4,261,420 株	2019年3月期	4,261,420 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	666,216 株	2019年3月期	666,188 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,595,222 株	2019年3月期1Q	3,595,534 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記).....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示).....	7
(セグメント情報等).....	7
(4) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業部門では設備投資の一部や輸出などに弱さがみられるものの収益は底堅く推移し、家計部門でも雇用・所得環境が着実に改善することで個人消費が持ち直しており、緩やかな回復が続きました。海外経済についても緩やかな回復が続いているものの、米国を中心とした通商問題の行方は6月に開催されたG20以後も予断を許さず、中国経済の先行きなどとともに世界景気のリスク要因として懸念されています。

医薬品業界につきましては、6月に政府により「経済財政運営と改革の基本方針2019（骨太の方針2019）」が閣議決定され、前年度に引き続き当社の主要テーマである慢性腎臓病の予防に重点的に取り組むことが盛り込まれました。また、同方針の中で「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき、長期収載品の価格引き下げ開始期間や2021年度薬価改定の具体的な対象範囲といった課題などについて結論を得、着実に改革を推進するとしています。

当社グループにおいては、昨年11月に発表したAI創薬ベンチャー「株式会社MOLCURE」との協業に続き、6月には「株式会社ディー・エヌ・エー」が製薬企業などと進めているAI創薬プロジェクトに参画することが決まりました。また、同じく6月にジェネリック医薬品1成分2品目を発売しております。

(医薬品事業)

ジェネリック医薬品については、先発品からの置換率が上がるにつれ、既存品の置換スピードが鈍っていることや、オーソライズドジェネリックの市場浸透による競争激化などがあり、前年同期比1.8%の減収となりました。主力品・新薬については主力品がジェネリック医薬品への置換などによる影響を受けていることに加えて、2月から発売を開始している腸管洗浄剤の新薬「ピコプレップ配合内用剤」の新規口座獲得に若干時間を要していることもあり、前年同期比17.4%の減収となっております。

以上の結果、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は7,483百万円（前年同期比2.7%減）となりました。また、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は8,214百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は700百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受託試験事業の売上が前年同期に好調であった反動から、売上高は89百万円（前年同期比38.9%減）となり、33百万円の営業損失（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,304百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は666百万円（前年同期比53.4%増）、経常利益は596百万円（前年同期比26.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は420百万円（前年同期比47.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前期末に比べて1,832百万円増加し、30,501百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて169百万円減少し、18,086百万円となりました。これは、主に減価償却費の計上によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて1,662百万円増加し、48,588百万円となりました。

2)負債

流動負債は前期末に比べて1,422百万円増加し、15,247百万円となりました。これは、短期借入金及び仕入債務の増加などによるものです。

固定負債は前期末に比べて100百万円増加し、15,337百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて1,522百万円増加し、30,585百万円となりました。

3)純資産

純資産合計は前期末に比べて140百万円増加し、18,003百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2019年5月13日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,333	10,344
受取手形及び売掛金	7,963	8,019
電子記録債権	4,795	4,898
商品及び製品	4,351	4,650
仕掛品	893	965
原材料及び貯蔵品	1,125	1,336
その他	205	285
流動資産合計	28,668	30,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,804	5,764
機械装置及び運搬具(純額)	2,247	2,118
工具、器具及び備品(純額)	391	373
土地	5,064	5,064
リース資産(純額)	264	247
建設仮勘定	17	23
有形固定資産合計	13,790	13,591
無形固定資産		
特許権	30	29
販売権	117	113
リース資産	36	34
ソフトウェア	173	168
電話加入権	18	18
無形固定資産合計	375	363
投資その他の資産		
投資有価証券	2,869	2,887
長期貸付金	2	2
長期前払費用	364	344
敷金及び保証金	100	95
繰延税金資産	408	456
その他	407	407
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	4,089	4,131
固定資産合計	18,256	18,086
繰延資産		
社債発行費	1	1
繰延資産合計	1	1
資産合計	46,926	48,588

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,926	1,984
電子記録債務	5,048	5,347
短期借入金	432	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,495	2,579
リース債務	104	102
未払金	43	69
未払法人税等	213	202
未払消費税等	195	156
未払費用	2,540	2,792
預り金	175	280
返品調整引当金	2	2
販売促進引当金	450	429
その他	197	301
流動負債合計	13,825	15,247
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	12,158	12,356
リース債務	236	215
役員退職慰労引当金	467	425
退職給付に係る負債	636	601
再評価に係る繰延税金負債	1,115	1,115
その他	422	422
固定負債合計	15,237	15,337
負債合計	29,063	30,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,303	1,303
利益剰余金	12,113	12,170
自己株式	△3,187	△3,187
株主資本合計	14,535	14,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,091
土地再評価差額金	2,513	2,513
為替換算調整勘定	△70	△14
退職給付に係る調整累計額	△213	△200
その他の包括利益累計額合計	3,308	3,390
新株予約権	19	21
純資産合計	17,863	18,003
負債純資産合計	46,926	48,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,546	8,304
売上原価	4,905	4,598
売上総利益	3,641	3,705
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	3,642	3,706
販売費及び一般管理費	3,208	3,039
営業利益	434	666
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	25
固定資産賃貸料	1	1
持分法による投資利益	9	5
為替差益	35	-
その他	4	3
営業外収益合計	77	36
営業外費用		
支払利息	31	30
為替差損	-	67
支払手数料	1	1
その他	5	6
営業外費用合計	38	106
経常利益	472	596
税金等調整前四半期純利益	472	596
法人税、住民税及び事業税	211	236
法人税等調整額	△24	△59
法人税等合計	187	176
四半期純利益	285	420
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	285	420

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	285	420
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3	12
為替換算調整勘定	△198	56
退職給付に係る調整額	21	13
その他の包括利益合計	△181	82
四半期包括利益	104	502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104	502
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	8,400	146	8,546	—	8,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	93	95	△ 95	—
計	8,402	239	8,642	△ 95	8,546
セグメント利益又は損失(△)	442	△ 7	434	—	434

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	8,214	89	8,304	—	8,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	0	3	△ 3	—
計	8,218	89	8,307	△ 3	8,304
セグメント利益又は損失(△)	700	△ 33	666	—	666

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(4) 重要な後発事象

該当事項はありません。